

革新的研究開発推進プログラム (ImPACT) 終了時評価報告書概要



- ImPACTとは、破壊的イノベーションを目指した挑戦的な研究開発制度。
- 目利き力のある研究者をPMに任命し、予算配分などの権限を付与。
- 550億円の基金を造成、5年間(H26~H30年度)の事業を完遂。

【評価結果】

- 16名のPMを採択、プログラムを推進。
- 参加者の自己評価及び外部専門家の評価のいずれも、斬新で革新性のある研究開発が実現したと評価。
- ベンチャー起業(15件)など、事業終了後も継続して発展。

<PM: Program Manager>

【今後の改善点】

- 研究者のみならず幅広い人々の意見を取り入れて、野心的な目標を設定。
- 海外研究者の取込みと国際連携を強化。
- 課題に対しポートフォリオを構築、スモールスタートで成果に応じ資金配分するステージゲート方式を採用。

ムーンショット型研究開発制度に反映

【主な研究成果】

自動車のEV化を先取りする 軽量・強靭化ポリマー素材



伊藤 耕三
東京大学
大学院 / 教授

しなやかタフポリマー



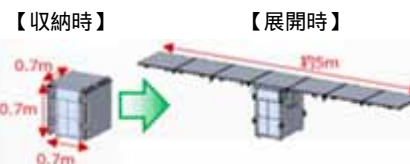
・車体構造用樹脂の剛性を維持したまま大幅に軽量化

商用利用可能な小型高性能の XバンドSAR衛星システム



白坂 成功
慶応義塾大
/ 教授

小型XバンドSAR衛星システム



従来比1/10に小型・軽量化
製造コストを1/20以下に

Society 5.0の実現に向けた サイバー空間形成の基盤技術



原田 博司
京都大学
大学院 / 教授

超ビッグデータプラットフォーム

2,000億件規模のデータを数分で処理
100km以上の面的カバー
ビッグデータ収集国際標準無線NW



医療政策立案に活用

西日本豪雨災害支援に活用